



IBM Lotus Mashups 資料

目次

概要	1	マッシュアップのディスカバーに関するよくある質問	8
一般的なよくある質問	1	マッシュアップの使用に関するよくある質問	10
マッシュアップの作成、組み立て、および検討に関するよくある質問	3	マッシュアップの共用に関するよくある質問	12
		用語集	12

概要

本書には、よくある質問の一覧のほか、IBM® Mashup Center 全体で使用する共通の用語の用語集を収録しています。

一般的なよくある質問

一般的な事項については、以下のよくある質問とその回答を参照してください。

- 『マッシュアップとは?』
- 『ビジネス環境で使用されるマッシュアップの例は?』
- 2 ページの『 Lotus Mashups にデフォルトで付属するウィジェットは? その機能は?』

マッシュアップとは?

マッシュアップとは、新しい機能および視点を得るために、複数の既存のソースからの情報または機能を組み合わせることで作成された単純な Web アプリケーションのことです。通常、マッシュアップは、データを混ぜ合わせ (マッシュ)、新しいデータ・ソースか、単一のグラフィカル・インターフェースにデータを表示する新しいアプリケーションを作成します。ビジネス環境でのマッシュアップは一般に、ウィジェットを組み立てることで企業のデータと Web ベースのデータを組み合わせ、特定の状況または問題に対処するための単一の動的アプリケーションを実現します。

ビジネス環境で使用されるマッシュアップの例は?

企業の環境では、マッシュアップを使用して、広範な業務上の問題や日常の状況を解決できます。ここでは、そのようなタイプのマッシュアップの例をいくつか紹介します。

- 顧客データのマッシュアップ。顧客を訪問するための準備として、顧客データを販売担当者に迅速に表示します。データは、部門のソースと Web ベースのソースの両方から取り出すことができます。例えば、連絡先情報、関連した Web サイトへのリンク、顧客からの最近の注文、重要な状況のリストなどが挙げられます。
- 物流管理用マッシュアップ。なんらかの基準に基づいてデパートのグループの在庫を表示します。例えば、現在の台風の情報を店舗所在地の地図に重ね合わせ、その地図を在庫データに結合して、台風の経路上のどの店舗で発電機が不足しているかを表示させることができます。
- 人材マッシュアップ。プロフィール、給与、評価、社会保険の状況、ドッグイア、アクティビティなどの従業員データが一目で分かるように表示します。データをフィルターに掛けて、ある一定の給与を支払っている従業員など、特定の情報のみを表示させることができます。

Lotus Mashups にデフォルトで付属するウィジェットは？ その機能は？

Lotus Mashups には、すぐに使用可能なウィジェットがいくつか用意されています。以下に例を示します。

- **JavaScript アダプター** -- JavaScript™ を使用して、ウィジェットから得たイベント・データ (ペイロード) を別の値またはタイプに変換し、そのデータをページ上の別のウィジェットに再公開します。これは、ウィジェットのイベント・データが別のウィジェットのイベント・データと一致しないために 2 つのウィジェットを相互にワイヤリングできない場合に役立ちます。
- **正規表現** -- 指定の正規表現に基づいて、大規模なストリングの中でストリングを検索および置換します。
- **Web サイト表示機能** -- 指定された URL に基づいて Web サイトを表示します。
- **フィード・リーダー** -- フィードのコンテンツを表示します。ページ上の別のウィジェットからフィード URL を受信できます。
- **顧客リスト** -- サンプルのデータ・ビューアー・ウィジェットです。カタログ内のフィードを指す URL で構成されています。フィード・データには、顧客名、所在地、郵便番号、連絡先情報、チッカー・シンボル、企業の Web サイト、およびフィード URL が含まれます。
- **データ・エディター** -- sort、filter、truncate などの一般的な操作を使用して、ウィジェットから受信したコンテンツを、別のウィジェットに送信する出力コンテンツに変換します。コンマ区切り値 (CSV) テキスト・ファイルまたは JavaScript Object Notation (JSON) 配列から生成した新規フィードまたはリモート・フィード URL からのコンテンツを受信できます。
- **データ・ビューアー** -- コンテンツを表形式に編成して表示します。コンマ区切り値 (CSV) 形式のデータを含むファイルまたは Atom フィードからのデータを表示できます。送信コンテンツと受信コンテンツの両方を送信できます。
- **Portal** -- 指定された IBM WebSphere® Portal URL のポータル・ページを表示します。ユーザーが最初にマッシュアップ・アプリケーションのウィジェットにアクセスするときには、資格情報を使用してログインし、ページを表示させる必要があります。
- **Sametime** -- マッシュアップ・ページの外部にあるアプリケーションを開かなくても、IBM Lotus® Sametime® Connect にログインして連絡先に登録した相手とチャットできるようにします。
- **棒グラフ** -- 指定されたデータ・ソースから複数の値を取り出して、その値を表す長方形の棒でグラフを表示します。
- **画像** -- URL からアップロードできるイメージを表示します。
- **折れ線グラフ** -- 値を点として表示し、その点を線でつないでグラフを作成します。
- **円グラフ** -- 断片に分割した円グラフでデータを表示します。円の各断片は、値を全体に対するパーセンテージで表したものです。例えば、値が 100 のうち 20 単位に相当する場合、その部分は円の 20 % を占めます。

- **イベント・エクスプローラー** -- ページ上の別のウィジェットによって公開されたイベント・データを表示します。イベント・データを表示させるには、他のウィジェットにワイヤリングする必要があります。
- **HTML マークアップ** -- エディターへの入力または貼り付けが行われた HTML コードに基づいて Web ページを表示します。

これらのウィジェットの構成方法、およびマッシュアップでの使用例については、<http://www-10.lotus.com/ldd/mashupswiki.nsf> の IBM Mashup Center Wiki でウィジェットのヘルプを参照してください。

マッシュアップの作成、組み立て、および検討に関するよくある質問

マッシュアップの作成、組み立て、および検討については、以下のよくある質問とその回答を参照してください。

- 『ウィジェットのワイヤリングとは?』
- 6 ページの『ウィジェットの構成とは?』
- 7 ページの『新しいウィジェットはどのように作成しますか?』
- 7 ページの『データを「マッシュ可能」にするには?』
- 7 ページの『マッシュアップでフィードを使用するには?』
- 7 ページの『MashupHub にはフィードとフィード・マッシュアップの両方が表示されます。これらの違いは?』
- 8 ページの『ウィジェットにタグ、コメント、およびレーティングを追加できますか?』

ウィジェットのワイヤリングとは?

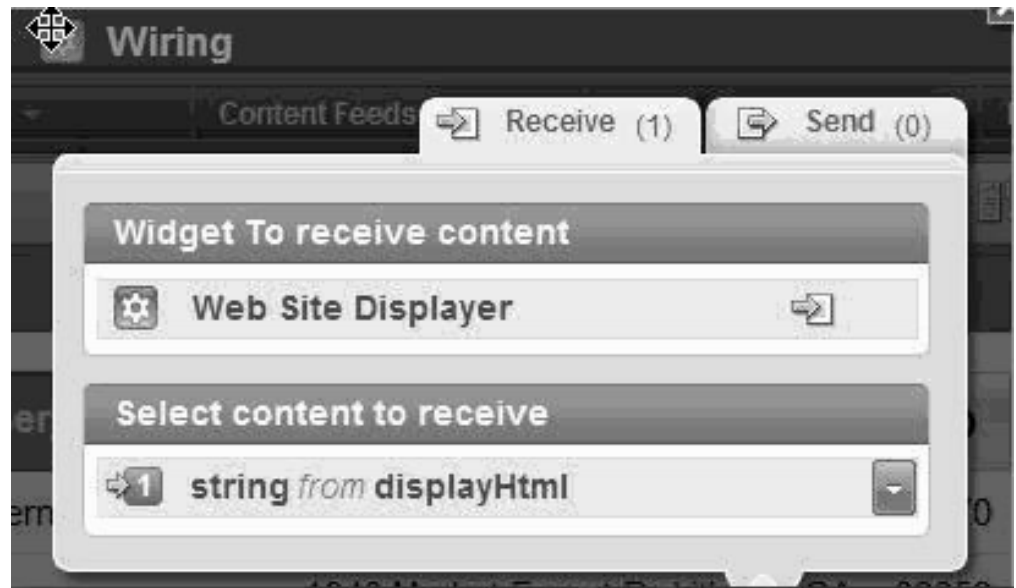
2 つのウィジェットをワイヤリングすると、本質的にはウィジェットが相互に導入され、通信方法が指定されます。ウィジェットは、イベント・データ (ペイロード) を渡すことによって通信します。一方のウィジェットがデータを送信すると、他方のウィジェットがデータを受信します。送信側ウィジェットは、イベント (表のセルがクリックされるなど) の結果としてデータを送信します。受信側ウィジェットがコンテンツを受信すると、指定のアクション (ページの更新や更新後の情報の表示など) が実行されます。

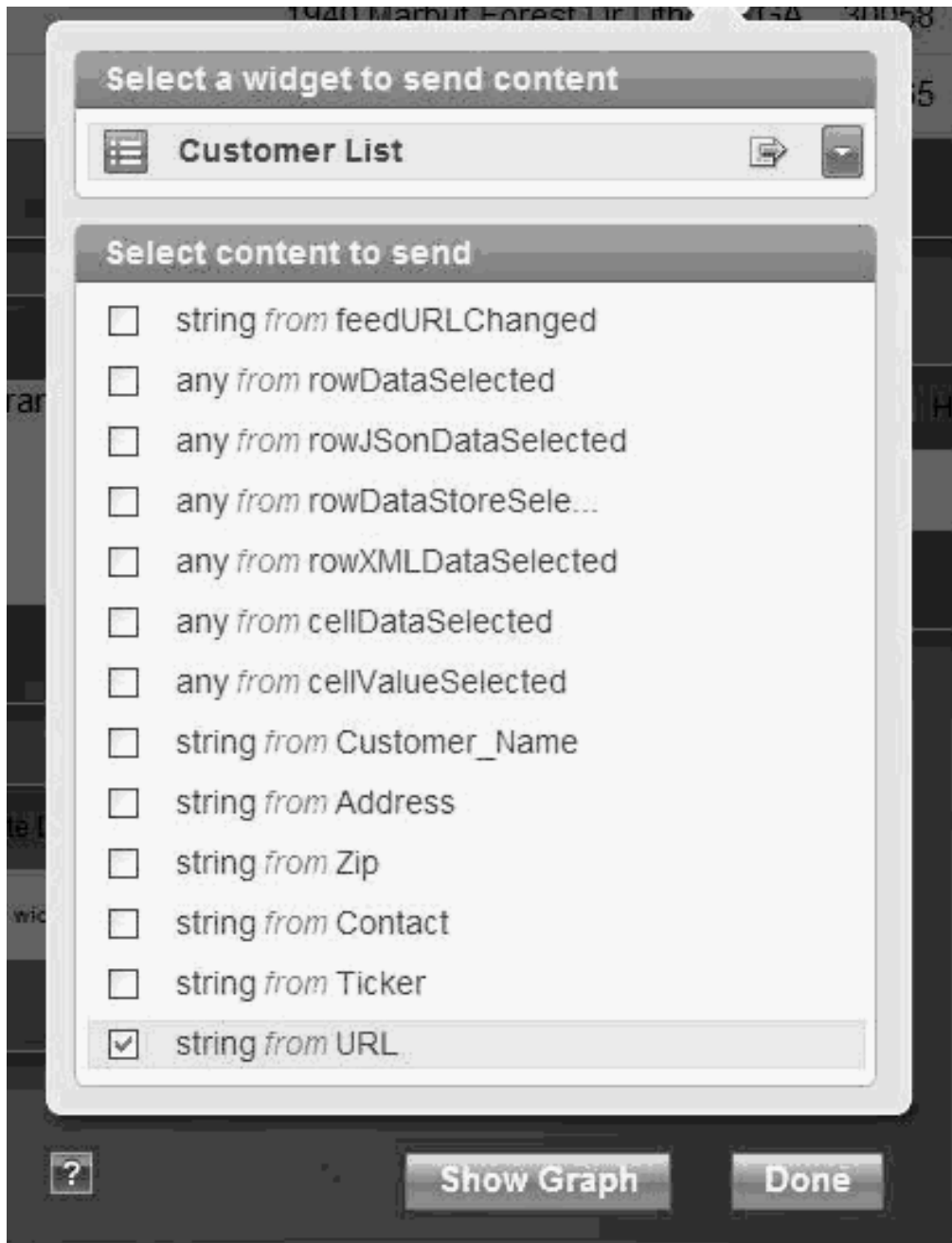
2 つのウィジェットをワイヤリングするときは、送信側ウィジェットまたは受信側ウィジェットから開始できます。 Lotus Mashups に付属しているすぐで使用可能な「顧客リスト」ウィジェットと「Web サイト表示機能」ウィジェットの 2 つのウィジェットを例にとり説明します。これら 2 つのウィジェット同士は簡単にワイヤリングできます。それにより、「顧客リスト」ウィジェットの顧客名をクリックすると、「Web サイト表示機能」ウィジェットに顧客の Web サイトを表示させることができます。この場合、「顧客リスト」ウィジェットが送信側ウィジェットであり、「Web サイト表示機能」ウィジェットが受信側ウィジェットです。

ワイヤリングの処理を「顧客リスト」ウィジェットから開始する場合、ワイヤリング・インターフェースの表示は以下のようになります。



ワイヤリング処理を「Web サイト表示機能」ウィジェットから開始する場合、ワイヤリング・インターフェースの表示は以下のようになります。





ウィジェットの構成とは？

ウィジェットを構成するときには、ウィジェットの特性を定義する公開プロパティを設定します。例えば、特定のファイルまたはフィード URL を指すようにウィジェットを構成してデータの取得元を指定できます。マッシュアップでのウィジェットの表示方法を定義するスタイル・プロパティを構成できます。スタイル・プロパティには、表にある情報のフィルタリングおよびソート、データ行の強調表示、タイトルの追加、色およびイメージの追加などが含まれます。さらに高度なウィジェットも用意されており、指定した条件に基づいてデータを変換するスクリプトを作成できます。各ウィジェットは固有であるため、構成設定はウィジェットごとに異なります。

Lotus Mashups に付属しているすぐに使用可能なウィジェットを構成するときのヒントについては、<http://www-10.lotus.com/idd/mashupswiki.nsf> にある IBM Mashup Center Wiki を参照してください。

新しいウィジェットはどのように作成しますか？

新しいウィジェットを作成するには、Lotus Mashups の Lotus Widget Factory コンポーネントを使用するのが最適です。新しいウィジェットを作成した後は、そのウィジェットを直接 Lotus Mashups ツールボックスに追加するか、カタログに公開して他のユーザーがディスカバーして使用できるようにすることができます。

上級者は、単純な JavaScript および任意の開発ツールを使用してウィジェットを作成し、デプロイすることもできます。ウィジェットの作成およびデプロイについて詳しくは、<http://www-10.lotus.com/idd/mashupswiki.nsf> の IBM Mashup Center Wiki で開発者のコーナーを参照してください。

データを「マッシュ可能」にするには？

多くの場合、企業では、有用なデータがスプレッドシート、バックエンド・データベース、各種ファイルなど、個人用文書や各部門のソースに格納されています。これらのデータは、ネイティブの形式ではマッシュアップに統合できません。理由は、イベントを渡してアクションを引き起こすことでデータを送受信できないためです。

データをマッシュ可能にするには、データを変換し、他のウィジェットで使用できる形式に再構成する必要があります。MashupHub では、この変換にあたって、最初にデータからフィードを作成します。フィードを作成した後は、単に Lotus Mashups に追加するだけで、「フィード・リーダー」ウィジェットまたは「データ・ビューアー」ウィジェットのいずれかにデータが表示されます。

スプレッドシートからフィードを作成してマッシュアップに追加する手順については、<http://www-10.lotus.com/idd/mashupswiki.nsf> の IBM Mashup Center Wiki に収録されている「*Introduction to creating mashups using IBM Mashup Center*」というチュートリアルのもジュール 3 で詳細に説明しています。

マッシュアップでフィードを使用するには？

Lotus Mashups では、フィードからのコンテンツをマッシュアップに表示するウィジェットを追加できます。カタログでは、さまざまなデータ・ソースに基づいて新しいフィードを作成したり、フィード・マッシュアップ・ビルダーを使用し、フィードのソースをインポートしてデータを再構成するために使用する演算子から構成されるフィード・マッシュアップを作成したりすることができます。

MashupHub にはフィードとフィード・マッシュアップの両方が表示されます。これらの違いは？

簡単に説明すると、フィードとはフィード・リーダーで表示可能な XML データのストリームであり、フィード・マッシュアップとはなんらかの方法で操作するフィードのことです。例えば、フィードを操作して、なんらかの条件に基づいて表示データをフィルターに掛けることができます。MashupHub では、フィード・マッシュアップ・ビルダーを使用してフィード・マッシュアップを作成します。フィード・

マッシュアップ・ビルダーには一連の演算子および関数が組み込まれており、これらを使用することで、フィード・データをインポートしてこのデータに対して演算を実行し、結果を新しいフィードとして公開できます。結局、フィード・マッシュアップはフィードと同じように振る舞います。フィードは、カタログに追加して、他のユーザーによる使用、タグ付け、レーティング、およびコメントの追加を行えるようにすることができます。また、Lotus Mashups に追加して、「フィード・リーダー」ウィジェットまたは「データ・ビューアー」ウィジェットのいずれかにフィード・データを表示させることもできます。

ウィジェットにタグ、コメント、およびレーティングを追加できますか？

カタログを使用すると、ウィジェットにタグ、コメント、およびレーティングを追加できます。単にウィジェット・リストでウィジェットを探し、詳細ウィンドウを開いてタグ、レーティング、およびコメントを入力するだけです。

マッシュアップのディスカバーに関するよくある質問

マッシュアップのディスカバーについては、以下のよくある質問とその回答を参照してください。

- 『カタログとは？ カatalogへのアクセス方法は？』
- 『マッシュアップをカタログに投稿するには？』
- 9 ページの『カタログにあるマッシュアップ・ページを Lotus Mashups に追加するには？』
- 10 ページの『カタログにあるフィードを Lotus Mashups に追加するには？』

カタログとは？ カatalogへのアクセス方法は？

カタログとは、マッシュアップ・オブジェクト（フィード、マッシュアップ・ページ、およびウィジェット）の格納、共用、ディスカバー、および再利用を行うためのリポジトリのことです。最初の時点では、カタログには MashupHub 組み込みの一連のサンプル・オブジェクトが入っています。カタログには、独自のオブジェクトを公開することもできます。その後は、オブジェクトを組み合わせ、他のマッシュアップ・アプリケーションを持つページを作成できます。

Lotus Mashups からカタログを開くには、Lotus Mashups ブラウザーの上部にあるアクション・メニューを開き、「**カタログを開く**」をクリックします。MashupHub が別個のブラウザで開いたら、「**カタログ**」セクションに移動します。

マッシュアップをカタログに投稿するには？

マッシュアップ・ページを公開することにより、マッシュアップをカタログに投稿できます。ページの URL を Lotus Mashups サーバーに公開するか、ページ定義全体およびそのすべての成果物を（そのページに設定したすべてのプロパティ、ページ上のすべてのウィジェット、ウィジェットの構成プロパティとワイヤリング・プロパティも含めて）アップロードすることができます。

マッシュアップ・ページをカタログに公開するには、以下の手順を実行します。

1. Lotus Mashups ブラウザーの上部にあるページ・メニューを開きます。

2. 「このページの公開」を選択します。
3. このウィンドウで、タイトル、説明、およびバージョン番号を入力します。タグおよびアクセス権も指定します。最後に、以下のいずれかのオプションを選択します。
 - **ページを URL として公開する** -- マッシュアップ・ページを完全修飾 URL で参照するには、このオプションを選択します。ファイルはダウンロードされません。ユーザーがカタログ内のページにアクセスして Lotus Mashups に追加すると、ページのサーバー・コピーを指す新しいエントリがページ・ナビゲーションに表示されます。ユーザーはこれを変更することはできません。ユーザーに表示アクセス権を付与しないとページはまったく表示されないの注意してください。
 - **ページ定義と成果物を公開する** -- マッシュアップ・ページ・パッケージを ZIP ファイルとしてアップロードするには、このオプションを選択します。ユーザーがカタログ内のページにアクセスして Lotus Mashups に追加すると、そのページに関連付けられたページ定義とすべての成果物が (プリファレンスも含めて) Lotus Mashups サーバーにデプロイされ、インストールされます。新しいページ・ノードが作成され、ユーザーに所有者特権が付与されます。
4. 「保存」をクリックします。

カタログにタブで移動し、「**カタログ**」セクションの「**他のページの表示**」をクリックして、リストの中でページを探すことにより、ページが正しく公開されたことを確認します。

マッシュアップをカタログに投稿するには、カタログ自体からページをアップロードする方法もあります。

カタログにあるマッシュアップ・ページを Lotus Mashups に追加するには？

マッシュアップを構築するときに、他のユーザーが作成してマッシュアップ・ページとしてカタログに投稿したマッシュアップを再利用して拡張したい場合もあります。これを行うには、Lotus Mashups のオープン検索機能を使用してマッシュアップ・ページを検索します。

オープン検索機能を使用してマッシュアップ・ページを検索し、ページ・ナビゲーションに追加するには、以下の手順を実行します。

1. Lotus Mashups ブラウザーの右上隅にある検索アイコンをクリックします。
2. ウィンドウで、検索条件を入力して検索アイコンをクリックします。
3. 検索結果が表示されたら、「**ツールボックスに追加**」をクリックします。
4. ウィンドウで、ページをページ・ナビゲーションに追加する場所を指定します。既存のページの子ページとして追加できます。
5. 「完了」をクリックします。ページ・ナビゲーションでページを検索することによって、ページが正常に追加されたことを確認します。

マッシュアップ・ページは、カタログから直接 Lotus Mashups に追加することもできます。

カタログにあるフィードを Lotus Mashups に追加するには?

マッシュアップを構築するときに、他のユーザーが作成してカタログに投稿したフィードを再利用して拡張したい場合もあります。カタログでフィードを検索する方法はいくつかあります。1 つの方法は、Lotus Mashups のオープン検索機能を使用する方法です。これにより、実際にカタログを開かずにフィードを検索してツールボックスに追加できます。2 番目の方法は、ツールボックスの「**ウィジェットの追加**」アイコンをクリックしてカタログを開き、そこでフィードを検索する方法です。

オープン検索機能を使用してフィードを検索し、ツールボックスに追加するには、以下の手順を実行します。

1. Lotus Mashups ブラウザーの右上隅にある検索アイコンをクリックします。
2. ウィンドウで、検索条件を入力して検索アイコンをクリックします。
3. 検索結果が表示されたら、Lotus Mashups に追加するウィジェットを強調表示させます。
4. 「**ツールボックスに追加**」をクリックします。
5. ドロワー (フィードを表示するためのウィジェット)、タイトル、および説明を指定します。ウィジェットに最適なアイコンも選択してください。
6. 「**追加**」をクリックします。

ツールボックスで検索することによって、フィードが正常に追加されたことを確認します。

マッシュアップの使用に関するよくある質問

マッシュアップの使用については、以下のよくある質問とその回答を参照してください。

- 『他のユーザーと共有しているマッシュアップにアクセスするには?』
- 11 ページの『自分のマッシュアップに追加したウィジェットを除去するには?』
- 11 ページの『マッシュアップのすべてのウィジェットを表示したくない場合は?』
- 11 ページの『ページのレイアウトをカスタマイズするには?』

他のユーザーと共有しているマッシュアップにアクセスするには?

マッシュアップの所有者とマッシュアップを共有している場合は、そのマッシュアップを Lotus Mashups ブラウザーの上部にあるアクション・メニューから取得したり、プレビューしたり、オプションでページ・ナビゲーションに追加したりすることができます。表示権限が付与されている場合は、マッシュアップの表示のみが可能です。編集権限が付与されている場合は、ページを編集モードで開いてウィジェットを変更できます。

マッシュアップの所有者と共有しているマッシュアップにアクセスするには、以下の手順を実行します。

1. Lotus Mashups ブラウザーの上部にあるアクション・メニューをクリックします。
2. リストから「**他のページの表示**」を選択します。

3. 「他のページ」ダイアログ・ボックスでは、ページ名をクリックすると、別のブラウザでページがプレビューされます。「追加」をクリックすると、そのマッシュアップ・ページがページ・ナビゲーションに追加されます。

ページを追加すると、ページ・ナビゲーションのトップレベルの最後の項目としてページ名が表示されます。他のページを移動するときと同じ方法で、ページ・ナビゲーションの中で移動できます。

自分のマッシュアップに追加したウィジェットを除去するには？

ウィジェットは、ページにドラッグした後も容易に削除できます。ウィジェットを削除するには、単にウィジェット・ウィンドウの右上隅にあるメニュー・アイコンをクリックして「削除」を選択するだけです。これを行うと、ウィジェットのほか、ウィジェットに接続されているすべてのワイヤリングが完全に削除されるので注意してください。

マッシュアップのすべてのウィジェットを表示したくない場合は？

ウィジェットをマッシュアップに追加しても、ページには表示したくないこともあります。例えば、単にデータ・ストリング内の摂氏を華氏に変換するだけの場合や、「データ・エディター」、「JavaScript アダプター」、または「正規表現」ウィジェットを使用してデータを変換するだけの場合もあるでしょう。それらのウィジェットはマッシュアップ・ページに追加する必要がありますが、表示モードで表示させないことがほとんどです。この場合、非表示ウィジェット・コラルでフィールド・リーダー・ウィジェットを簡単に非表示にすることができます。非表示ウィジェット・コラルは、ページ上の他のウィジェットが使用できるようにするが、マッシュアップには表示しないウィジェットを配置するためのページ上の領域です。通常、非表示ウィジェット・コラルには、コンテンツの提供または変更を使用する非可視のウィジェットを入れます。

ウィジェットを非表示にするには、単に非表示にするウィジェットの右上隅にあるメニュー・オプション・アイコンをクリックして「非表示」を選択するだけです。その時点で、ウィジェットがページに表示されなくなります。ウィジェットは、直接ツールボックスからドラッグして非表示ウィジェット・コラル・アイコン（ツールボックスの右側にあります）にドロップできます。

ページのレイアウトをカスタマイズするには？

マッシュアップを構築するときには、ページのレイアウトをカスタマイズできます。Lotus Mashups では、主に 2 つのレイアウト（フリー・フォームと列）で行うという特徴があります。名前が示すとおり、フリー・フォーム・レイアウトでは、キャンバス領域全体のプロパティ（背景色、背景イメージ、ページ枠、ページ余白など）を設定できます。また、ウィジェットのデフォルト・スキンとして使用するスキンも指定できます。列レイアウトでは、上記と同じすべてのプロパティのほか、ページに対する列のプロパティも構成できます。列を追加する場合は、ページに表示させる列の数（最大 3）を選択し、列間の幅を指定し、列の背景色および枠の色を設定できます。

これら 2 つのレイアウトを切り替えるには、ページ・メニューを開き、「レイアウト」フィールドで「フリー・フォーム・レイアウト」または「列レイアウト」のいずれかを選択します。各レイアウトのプロパティを設定するには、ツールボック

スの右側にあるレイアウト・アイコンを選択し、必要に応じてプロパティを設定します。必ずページを保存してください。さもなければ変更内容が失われてしまいます。

マッシュアップの共用に関するよくある質問

マッシュアップの共用については、以下のよくある質問とその回答を参照してください。

- 『同僚とマッシュアップを共用するには?』

同僚とマッシュアップを共用するには?

マッシュアップは、個々のユーザーをはじめ、社内のユーザーのグループと共用できます。マッシュアップを共用するときには、マッシュアップを含むページを共用します。ページを共用したユーザーは、Lotus Mashups を開いたときに、そのページを自身のナビゲーションに追加するかどうかを選択できます。それらのユーザーに対して、表示権限か編集権限のいずれかを付与できます。表示権限を持つユーザーは、マッシュアップの表示のみが可能です。編集権限を持つユーザーは、ウィジェットの追加、削除、構成、およびワイヤリングが可能です。しかし、所有者ではないため、他のユーザーとマッシュアップ・ページを共用することはできません。

マッシュアップを共用するには、以下の手順を実行します。

1. Lotus Mashups ブラウザーの上部にあるページ・メニューを開きます。
2. 「このページの共用」を選択します。
3. 「アクセス・レベル (Access Level)」ウィンドウで、検索フィールドを使用して、個々のユーザーおよびグループを「検索結果」リストに追加します (このリストは、検索ボタンをクリックした後に表示されます)。
4. 「検索結果」リストで、マッシュアップを共用する個々のユーザーおよびグループの横にあるチェック・ボックスを選択します。
5. 選択したユーザーに表示権限を付与するには、「表示に追加」をクリックします。選択したユーザーに編集権限を付与するには、「編集に追加」をクリックします。

ユーザーおよびグループをリストに追加した後は、必要に応じてチェック・ボックスを選択したりクリアしたりして、アクセス権限の付与および除去を行うことができます。

用語集

一般

アクション・メニュー (actions menu)

アクション・メニューは、編集モードの Lotus Mashups ブラウザーの上部にあるオプションのリストである。編集モードと表示モードの切り替え、ページのソース・コードの表示、カタログのオープン、他のユーザーと共用しているページのリストの表示が可能である。

ウィジェット (widget)

ウィジェットは、Web ページまたはリッチ・クライアントの組み込みブラ

ユーザーに容易に配置できる小規模なポータブル・アプリケーションまたは動的コンテンツである。ウィジェットは任意の言語 (Java™、.NET、PHP など) で作成できるほか、単純な HTML フラグメントにすることもできる。イベントを渡すウィジェットを相互にワイヤリングすると、マッシュアップを作成できる。ウィジェットは、ベンダーによってガジェット、ブロック、フレークなど、さまざまな名称で呼ばれる。

ウィジェットは、Eclipse、IBM WebSphere sMash などの各種ツールのほか、メモ帳を使用しても作成できる。ウィジェットを容易に作成およびデプロイメントできるように、Lotus Mashups には Lotus Widget Factory という Eclipse ベースの手軽なウィジェット作成環境が組み込まれている。

オープン検索機能 (Open search feature)

オープン検索機能は Lotus Mashups ツールボックスの検索手段の 1 つであり、カタログ内でページ、ウィジェット、およびフィードを検索するために使用できる。カタログ内の項目を検索した後は、Lotus Mashups への追加、編集、他のデータとの再編成、およびカタログへの再公開が可能である。

カタログ (catalog)

カタログは、ウィジェット、フィード、およびマッシュアップ・ページを共用およびディスカバーするための共通のリポジトリであり、レーティング、タグ付け、コメント追加などの組み込みのコミュニティー機能を持つ。

ツールボックス (toolbox)

ツールボックスは、編集モードの Lotus Mashups Workshop におけるウィジェットのドロワーを含む領域である。新しいウィジェットをツールボックスに追加し、ニーズに合わせて編成できる。ツールボックスからは、ウィジェットを非表示ウィジェット・コラルにドラッグしたり、ページ・レイアウトを変更したりすることもできる。

ドロワー (drawer)

ドロワーは、編集モードの Lotus Mashups Workshop における、ツールボックス内のウィジェットの 카테고리である。マッシュアップを作成するときには、ウィジェットをドロワーから直接ページにドラッグする。ドロワー間でのウィジェットの移動、ドロワー名の変更などが可能である。

非表示ウィジェット・コラル (hidden widgets corral)

非表示ウィジェット・コラルとは、Lotus Mashups Workshop の編集モードにおいて、ページ上の他のウィジェットが使用できるようにするが、マッシュアップには表示しないウィジェットを配置するためのページ上の領域のことである。通常、非表示ウィジェット・コラルには、コンテンツの提供または変更を使用する非可視のウィジェットを入れる (地図にコンテンツを提供するフィードなど)。

表示モード (view mode)

Lotus Mashups Workshop における表示モードとは、マッシュアップの表示および使用が可能であるが、編集は不可能なページ状態のことである。

フィード (feed)

フィードは、頻繁に更新されるコンテンツを Web サイトがユーザーに配信できるようにするデータ・フォーマットである。Lotus Mashups では、フ

ィードからのコンテンツを表示するウィジェットを作成できる。フィードは、Atom Syndication Format や RSS (Really Simple Syndication) など、さまざまな形式をとることができる。

ページ (page)

Lotus Mashups Workshop におけるページとは、マッシュアップの表示、作成、および編集を行うキャンバス領域のことである。編集モードでは、ページ・レイアウトをカスタマイズし、マッシュアップに固有の表示を実現できる。

ページ・メニュー (page menu)

ページ・メニューはページ・オプションのリストであり、Lotus Mashups ブラウザーの上部に、現行ページ名の横に直接表示される。ページ・メニューを使用すると、他のユーザーとのページの共用、カタログへのページの公開、ページ・プロパティの編集、およびページの削除を行うことができる。

編集モード (edit mode)

Lotus Mashups Workshop における編集モードとは、ウィジェットの組み立て、構成、およびマッシュアップへのワイヤリングが可能なページの状態のことである。編集モードでは、ページ上のウィジェットを追加および削除できるほか、コンテンツおよびスタイルの設定も編集できる。編集モードは、アクセス制御で編集役割のメンバーであるユーザーのみが使用できる。

マッシュアップ (mashup)

マッシュアップとは、新しい機能および視点を得るために、複数の既存のソースからの情報または機能を組み合わせることで作成された単純な Web アプリケーションのことである。通常、マッシュアップは、データを混ぜ合わせ (マッシュ)、新しいデータ・ソースか、単一のグラフィカル・インターフェースにデータを表示する新しいアプリケーションを作成する。ビジネス環境でのマッシュアップは一般に、ウィジェットを組み立てることで企業のデータと Web ベースのデータを組み合わせ、特定の状況または問題に対処するための単一の動的アプリケーションを実現する。

ワイヤリング・グラフ (wiring graph)

ワイヤリング・グラフは、編集モードの Lotus Mashups Workshop において、選択されたウィジェットがページ上の他のウィジェットにどのようにワイヤリングされているかをグラフィカルに表示する図である。ワイヤリング・グラフにより、ページ上のどのウィジェット同士が正常にワイヤリングされているかを容易に確認することができる。

Asynchronous JavaScript and XML (AJAX)

AJAX は、小規模なデータ・チャンクの交換によって要求に迅速に応答する対話式の動的 Web ページを作成するために使用されるテクノロジーである。AJAX は、XHTML、CSS、XML、クライアント・サイド・スクリプト言語 (JavaScript など)、Document Object Model、非同期データ取得メカニズム (XMLHttpRequest など) を含む既存のテクノロジーとプロトコルの組み合わせを使用する。

Atom Atom は、Atom Specification Format に基づく Web リソースを編集および公開するための、配信対象 Web コンテンツに対する XML ベースのフォーマットおよびプロトコルである。

CSV ファイル (CSV file)

コンマ区切り値 (CSV) テキスト・ファイル。一般に、異なる形式を使用するデータベース・システムの間でファイルを交換するために使用される。コンマ区切りファイルと呼ばれることもある。

IBM InfoSphere MashupHub

MashupHub は、IT 技術者が Web 上、部門内、個人所有、企業所有の各情報をアンロックし、REST 型の Web2.0 アプリケーションで共用するための、軽量の情報管理環境である。MashupHub には、REST 型のフィードを再構築および再編成するためのビジュアルなツールが組み込まれている。

IBM Lotus Mashups

Lotus Mashups は、インターネット上、企業内、および個人が持つコンテンツを単純で柔軟性の高い動的 Web アプリケーションに迅速に組み上げるための、軽量のマッシュアップ環境である。Lotus Mashups により、Web に精通したビジネス・ユーザーは、直接的なビジネスのニーズに対処するための新しい Web アプリケーションを簡単に作成して共用することができる。

Lotus Mashups には、以下のコンポーネントが組み込まれている。

- **Lotus MashupsWorkshop:** ウィジェットおよびフィードを新しいマッシュアップに組み上げるための、ブラウザ・ベースのグラフィカルなツール
- **Lotus MashupsCatalog:** レーティング、タグ付け、コメント追加などの組み込みのコミュニティー機能を持つ、ウィジェットおよびフィードを共用およびディスカバーするための共通のリポジトリ
- **Lotus WidgetFactory:** ウィジェットを迅速に構築するための、Eclipse ベースの開発ツール

IBM Lotus Widget Factory

Lotus Widget Factory は、どのスキル・レベルの開発者でも、コードを記述せずに、既存のアプリケーションおよびデータ・ソースを活用する動的ウィジェットを手軽に作成できるようにする、使いやすい開発環境である。

Lotus Widget Factory の開発機能は使いやすく高機能であるため、ウィジェットの開発過程が劇的に簡素化される。そのため、開発者は、従来型のアプリケーション開発手法を採用した場合と比べてほんの少しの時間およびコストで適応性のある堅固なウィジェットを配信できる。

IBM Mashup Center

Mashup Center は、基幹業務ユーザーが単一の柔軟な動的 Web アプリケーションを組み立てるための完全なエンドツーエンド・マッシュアップ・プラットフォームを提供する製品オファリングである。また、IT で要求される管理、セキュリティ、およびガバナンス機能も備えている。Mashup Center には Lotus Mashups および MashupHub が組み込まれている。

iWidget

iWidget は、ウィジェットの標準的な定義を規定し、さまざまな IBM プラットフォームおよび製品の間でのシームレスな相互運用を可能にする IBM の仕様である。IBM は、OpenAjax Alliance などのグループと共同で、ウィジェットの共通規格の実現と、ウィジェットや Google ガジェットなどのウィジェット形式相互のインターオペラビリティの確保を推進している。

JavaScript ObjectNotation (JSON)

JSON は、JavaScript のオブジェクト・リテラル表記に基づく軽量のデータ

交換フォーマットである。JSON はプログラミング言語に対して中立であるが、C、C++、C#、Java、JavaScript、Perl、Python などの言語での規則を使用する。

JavaScript

JavaScript は、ブラウザと Web サーバーの両方で使用される Web スクリプト言語である。